
作者の現実短編

柿ノ木 虹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

作者の現実短編

【Nコード】

N7715X

【作者名】

柿ノ木 虹

【あらすじ】

作者の現実にあつた話をちよくちよく変えた短編。
どこが本当かは皆さんのご想像で。

さて、友達に彼女ができた。

その友達は『田中』としよう。

中三、修学旅行が終わったところに出来たらしい。

その田中はまあまあ格好よくて、なんとなくもてていたので納得した。

とりあえず

「リア充爆発しろ」

と、言ってやった。

さて、親友にも彼女が出来た。

その親友を『加藤』としよう。

まあ、納得した。

実は加藤はハーフでイケメンなのだ。

つまり今まで出来ていなかったのが不思議なくらいだったのだ。
やっぱり

「リア充爆発しろ」

と、言ってやった。

そして、眼鏡でデブでオタクな友達にも最近彼女が出来た。

その友達は『山下』としよう。

そういえば、山下はこのごろ痩せてきていたが、
驚いて驚いて驚きすぎて

「リア充爆発しろ」

と、言っのを忘れていた。

そして、俺の痩せ型で運動が出来る友達は告白されたらしい。
その友達は『中山』としよう。

中山はふっいたらしい。
なので、

「リア充爆発しろ」
と、言わなかった。

そんなある日、田中が別れた。
とりあえず田中の彼女を『ひな』としよう
学校から家が近い俺の家はたまり場となっていて、その二人もよく来たので、ひなとは友達だ。

ある日本屋から帰ってきたときに加藤の彼女がいた。
加藤の彼女を『れいな』としよう。

親友の彼女なのでまあまあ仲がいい。

「加藤どこー!？」

と言われてちょうど通りかかった中山とともに加藤の家に行った。
そしたら近くのコンビニに田中とひなと加藤がいて、なぜか加藤と田中だけが家に行ってしまった、

ひなだけ取り残されたので行ってみたら、

「別れた・・・」

などと言ったので、

「マジで？」

と、きいてみたら、

「わかんない・・・」

と、言われた。

なんでだよ!？

と、言おうと思ったが泣いていたので
「なんでだよ？」

すこしやさしめに言った。

それでも多分らしい・・・

とりあえず家まで送って行ってやった。

なぜか次の日から『一人で』俺の家に来た。

俺の家はマンションで、下にそれぞれの家にピンポンできるので、一人だというのがわからずにあげてしまった。

どうせ戻っていると思ったのに・・・

そして男子の家・・・というか部屋で二人きり。

俺の漫画を読んでいるひな（女子）。

チェリーである俺には結構きつい・・・
ことはない。

俺はちゃんと自重出来る男である。

だがひなよ・・・危機感を持つとうぜ？

漫画で笑っている場合ではないのだよ。

青少年と部屋で二人きりなんだぜ？

とりあえずだめだと言ったが・・・

「別に大丈夫じゃね？」

・・・まあ、いいか。

と、言うことで終わった。

そして家族が帰ってきて、彼女と間違われた。

違うと言ったものの、あとで何も言っ来ないのがすごく怖かった。

ちなみに、田中とひなは二週間ほどしたら、またくっついた。

さあ、

．．．．．俺の芽生えてしまった『恋心』
をどこに捨ててこようか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7715x/>

作者の現実短編

2011年11月11日03時23分発行